

地質・地盤情報の整備と活用と法整備に関する
日本学術会議公開講演会の開催について
(平成28年1月23日 日本学術会議講堂)

国立研究開発法人
産業技術総合研究所
佃 栄吉

日本学術会議主催学術フォーラム 2016年1月9日
「防災学術連携体の設立と東日本大震災の総合対応の継承」

日本学術会議公開講演会 (平成28年1月23日)

強靱で安全・安心な都市を支える
地質地盤の情報整備
—あなたの足元は大丈夫？—

主催 日本学術会議
地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会
土木工学・建築学委員会学際連携分科会

地下地質地盤情報は国民の共有の財産

- あなたは足元の地質地盤をご存知ですか。地質地盤情報は、国民の暮らしの安全・安心と社会・経済の持続的発展を支えるための必須の情報です。
- しかし、大都市の地質地盤は未だに十分な可視化が進まず、広く国民が活用する段階には至っていません。
- 多様な地下の地質地盤の情報整備が、関連する学術研究の発展につながり、その成果が迅速に社会に橋渡しされることを願い、公開講演会を企画しました。

地質地盤情報の共有化はなぜ必要か

- 見えない地下を可視化すること
- 主に大都市及びその周辺の平野・丘陵地域の生活に密接な情報として
- 見えないために、無関心、リテラシーの低下
- わかりやすく3次元的表現技術の開発が必要
- 不確実な情報のため、社会的合意に膨大な時間がかかわれている。
- リスクコミュニケーションツールとなる
- 質と量を確保し、高精度化していく

地質地盤情報の共有化に向けて

—安全・安心な社会構築のための
地質地盤情報に関する法整備—

日本学術会議 地球惑星科学委員会(平成25年1月31日)

提言

- 1) 地質地盤情報に関する包括的な法律の制定
—地質地盤情報は国民の共有財産
- 2) 地質地盤情報の整備・公開と共有化の仕組みの構築
—情報プラットフォーム[ネットワーク]構築
- 3) 社会的な課題解決のための地質地盤情報の活用
の促進と国民の理解向上

2016年1月23日(土)午後1:30～5:30 日本学術会議講堂

テーマ1 地質地盤情報の整備と共有化、地下モデルの技術開発と活用事例

「日本における地盤情報の整備・共有化と活用事例」

北田 奈緒子(地域地盤環境研究所)

「都市平野部における地質地盤情報—地下3次元構造モデル—」

中澤 努(産業技術総合研究所)

テーマ2 住民に最も近いユーザー—地方自治体の情報整備とハザードマップ

「防災に役立つ地質地盤情報」

岩田 孝仁(静岡大学防災総合センター教授)

テーマ3 地質地盤情報の技術開発と社会・ビジネスでの応用事例

「地盤情報の活用と強靱で魅力のある都市設計」

田村 和夫(日本学術会議連携会員、千葉工業大学工学部教授)

「地中熱利用の普及に必要な地質地盤情報の共有化」

笹田 政克(地中熱利用促進協会理事長)

「土地利用に関する新たな展開—不動産の新しい価値の概念」

中城 康彦(明海大学不動産学部長・教授)

総合討論

学術研究成果の社会への迅速な橋渡し、地質地盤情報システムの社会実装化、及び利活用促進のための法整備

「地質地盤情報の課題と今後の取り組み—法整備を目指して—」

仰 啓吉(日本学術会議連携会員)